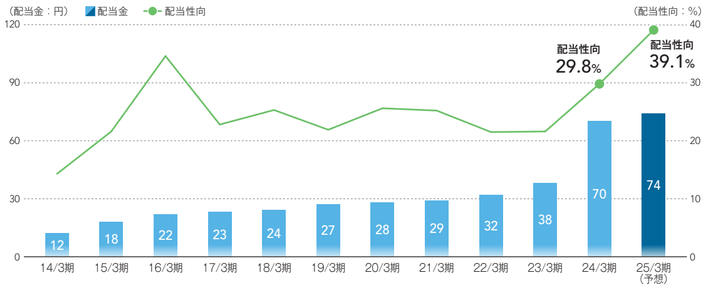
IR情報 株主還元・配当政策

配当実績と計画

当社は事業安定成長のもと配当水準の安定的維持・向上を図ることを念頭に、増配を継続していく累進的配当政策を基本方針とし、配当性向は30%達成を当面の目標としております。

当期においては、期初予想通り前期比4円増配し、15年連続となる年間74円の見込みです。（※2024年11月14日時点）



株主優待のご案内

オカダアイヨン・プレミアム優待倶楽部

当社の株主優待制度は、保有株数に応じて贈呈するポイントをご使用いただき、インターネット上で5,000点を超える商品の中からお好みに合わせてお選びいただける制度です。

権利確定日	2025年3月31日（400株以上保有する株主様が対象）

詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

CORPORATE PROFILE / STOCK INFORMATION 会社概要／株式情報

会社概要（2024年9月30日現在）

商号　オカダアイヨン株式会社
OKADA AIYON CORPORATION

本社　〒552−0022
大阪市港区海岸通四丁目1番18号
TEL. 06−6576−1281

設立年月日　1960年9月1日

資本金　2,221百万円

従業員数　240名

［主要な事業内容］

- 油圧ブレーカ　TOP、TOP-V、超低騒音TOP-S、TOP-J
- 圧砕機　TS-Wクラッシャー、TSRCクラッシャー
  TS-Wカッター、TS-Sカッター、コワリクン
- 林業機械　木材用グラップル、地引きウインチ
  プロセッサ、ハイブリッドバケット
- 大型環境機械　タブグラインダー、ウッドホグ、ログバスター
  ビッグバス、プラント関連機器

［主要な営業所］

東京本店・関西支店・札幌営業所・盛岡営業所・仙台営業所
湘南営業所・中部営業所・北陸営業所・広島営業所
四国営業所・福岡営業所・熊本営業所・東京オフィス・海外事業所

［オカダアイヨングループ］

株式会社アイヨンテック・株式会社南星機械
Okada America, Inc.・Okada Midwest, Inc.
Okada Europe B.V.・Okada Aiyon（Thailand）Co.,Ltd.

株式情報（2024年9月30日現在）

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	8,378,700株（自己株式339,327株を含む。）
株主数	8,279名

大株主［上位10名］（2024年9月30日現在）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	503,700	6.26
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	462,200	5.74
岡田眞一郎	342,150	4.25
極東開発工業株式会社	300,000	3.73
株式会社三井住友銀行	242,930	3.02
株式会社三菱UFJ銀行	220,000	2.73
岡田町子	220,000	2.73
株式会社テイサク	185,000	2.30
株式会社池﨑鉄工所	180,100	2.24
萱岡和夫	174,800	2.17

（注）1.当社は、自己株式を339,327株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2.持株比率は自己株式を控除して計算しております。

ホームページのご案内

https://www.aiyon.co.jp/

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様に企業情報、財務情報やサステナビリティ情報について、積極的に情報開示を行っております。
ぜひご覧ください。

こちらのQRコードからもアクセス！

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒168−0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号　三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120−782−031（フリーダイヤル）　受付時間 9:00～17:00（土日休日を除く）
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告の方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。　アドレスは、https://www.aiyon.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場

基準日	定時株主総会　毎年3月31日 剰余金の配当　毎年3月31日 上記のほか必要と認めたときは、あらかじめ公告いたします。 （当社は中間配当制度を設けておりますが、現在は期末配当のみを行うこととしております。）

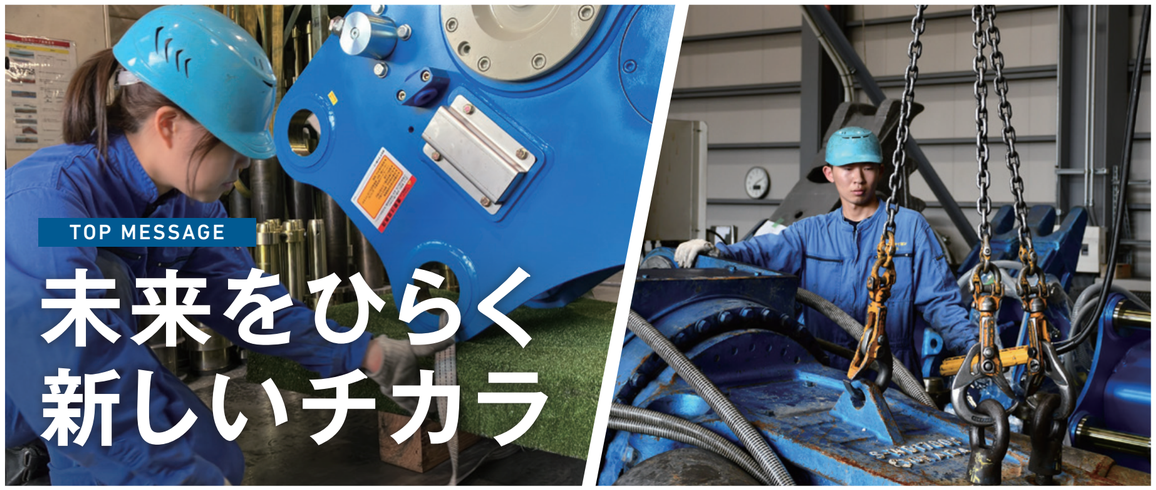
ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えて良す FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK

第66期 第2四半期（中間期） 株主レポート
2024年4月1日 ～ 2024年9月30日

オカダアイヨン株式会社
証券コード：6294

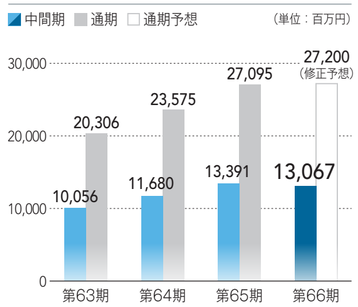
OKADA REPORT

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

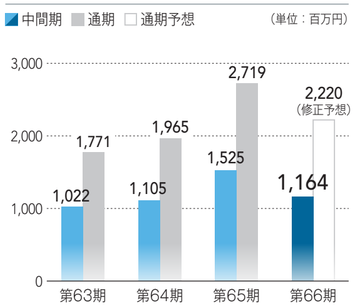


FINANCIAL HIGHLIGHTS 財務ハイライト

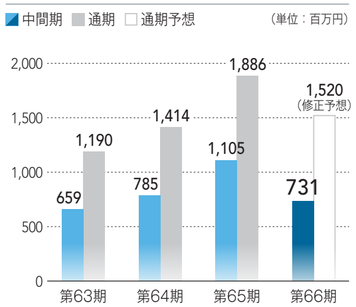
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する中間純利益



未来をひらく 新しいチカラ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。当社における第66期第2四半期（中間期）（2024年4月1日～2024年9月30日）の業績につきまして、ここにご報告いたします。

代表取締役社長　岡田 祐司

Q 当中間連結会計期間の事業概況はいかがでしたでしょうか。

A 国内では、当社グループの主力製品である解体用圧砕機は生産増が寄与し順調に伸びましたが、その他の機械、特に子会社南星機械の事業であるケーブルクレーンがやや出遅れたこと等により減収、海外も高金利政策等による景気減速や米国での建機流通在庫の一次的な積み上がり等の影響を受けて減収となり、売上高13,067百万円（前年同期比▲2.4%）、営業利益1,164百万円（同▲23.6%）と中間期として4年ぶりに減収減益となりました。

Q 通期に向けての見通しはいかがでしょうか。

A 国内においては圧砕機の生産拡大や林業機械の新製品効果、ケーブルクレーンの工事進捗等で巻き返しを図ります。海外に関しては、米国の回復が鍵となりますが、基本的な解体・インフラ需要は堅調であり時期の問題と見ています。

しかしながら、上期の業績結果と、米国ほかの海外需要の本格回復は来期にずれ込む見込みのため、通期の業績見通しは、売上高27,200百万円（前年比＋0.4%）、営業利益2,220百万円（同▲18.4%）と修正をさせて頂きました。株主の皆さまにはご心配をおかけいたしますが、国内外の解体・インフラ需要は中長期的には拡大していく見込みであり、これまで同様、需要増に備えた体制整備をしっかりと行い持続的成長を実現していきたいと考えております。

Q 通期の配当方針に関してはいかがでしょうか。

A 通期の配当金額は74円（前期比4円増）と変更はありません。また、今後も安定成長をもとに累進的配当方針を維持していく所存です。

Q 成長力強化に向けた体制整備についてはいかがでしょうか。

A 主力の圧砕機に関しては、部材等のサプライヤーさんの協力のもと、今年度下期から強みである鋳鋼製品の増産が期待できます。また、林業機械に関しては、今年度から子会社南星機械との営業統合により当社グループの強みであるアフターメンテナンスをフルに活用できる体制となり、競合他社との優位性を確実なものにしました。更に高性能林業機械等の新製品の投入により市場シェア獲得を図ります。海外においても、世界共通モデルの油圧ブレーカの投入や圧砕機の販路拡大等により販売強化を図ってまいります。

一方、経営基盤の整備としては、生産性向上やエンゲージメント向上に向けた取り組みとして、新規IT基幹システムの構築や人事制度の見直しに着手しました。これらは未来の担い手である中堅・若手社員が中心となってプロジェクトを進めています。

今後も全社一丸となって業績拡大に向けた体制整備を続けてまいります。株主の皆さまにおかれましては、引き続きご指導ご鞭撻のほどを宜しくお願い申しあげます。

NEW TOPICS

2024森林・林業・環境機械展示　実演会に出展

当日の様子の動画が視聴できます

10月20日（日）、21日（月）の2日間、福井県勝山市において開催された2024森林・林業・環境機械展示実演会に今年も出展いたしました。昨年と同様にアタッチメントの実演については、林業現場を想定しながら当社の林業機械での枝打ち、丸太の切断、集材、運搬など一連の作業を実演披露することができました。観覧していたお客さまから大きな拍手を頂くことができ、大変盛り上がった様子でした。実演終了後は簡単にアタッチメントを脱着できる油圧オートカプラや人気商品のハイブリッドバケットについて詳しい説明を求められるお客さまもおられ製品への関心の高さを感じました。当社ブースには約2,100名のお客さまにお越し頂き（期間中の総来場数約19,000名）当社の林業機械類に注目が集まっていることを実感いたしました。今後も日本の林業活性化に貢献できるようにグループ一丸となって努力してまいります。

De-1グランプリ 2024 / 全国解体　EXPO in 福岡

［競技大会の様子］

10月5日（土）・6日（日）の2日間でマリンメッセ福岡にて、「De-1グランプリ 2024/全国解体EXPO in 福岡」が開催され当社ブースを出展し、9機種を展示しました。2日目には油圧ショベルを操作し動かしテクニックを競う全国大会が行われました。その競技にも当社の機械が使用され、そこでもお客さまから大変注目を集めることができました。競技大会を通じて油圧ショベルを扱う関係者だけではなく、子供たちにも当社製品の迫力を知ってもらうことができました。今後も当社の製品を幅広い方へ知ってもらい、市場のニーズに応えた商品開発をおこなってまいります。

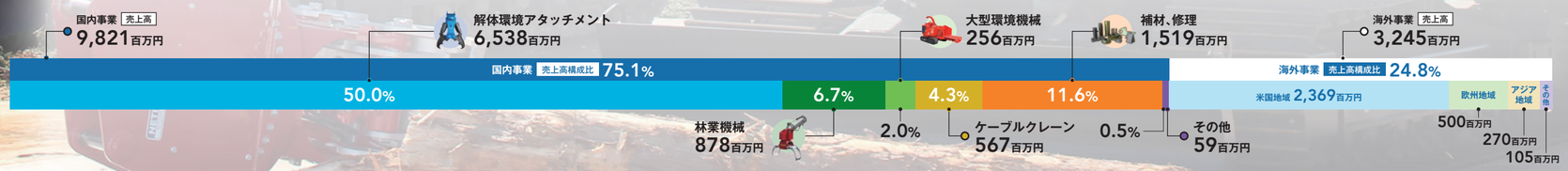
Kaitai-1グランプリ in FDC

10月12日（土）・13日（日）の2日間で福島県にある好間工業団地内にて「Kaitai-1グランプリin FDC」が開催され当社ブースを出展いたしました。東北では初開催となり、当社ブースではTS－Wクラッシャー、コワリクン、グラップルを展示いたしました。大型アタッチメントの実演も行うことができ当社製品の迫力を間近で体感して頂くことができました。他にもショベルの運転体験やキッチンカーの出展、重機の解体ショー、アタッチメントの競技大会もあり、様々な方に当社製品に触れてもらうことができました。

関西支店 新築移転

近畿エリア（大阪、兵庫、京都、奈良、和歌山）を担当する関西支店は本社（大阪市港区海岸通）と同敷地内で営業しておりましたが、業績拡大により事務所･工場が手狭となり、現在の場所より車で1分ほどの場所（大阪市港区福崎）に新築移転することとなりました。

事務所に併設する整備工場には、当社最大の20ﾄﾝ天井クレーンをはじめ15ﾄﾝ･10ﾄﾝ×各1基と4.8ﾄﾝ×4基の計7基を設置し、大型化する解体アタッチメントや大型環境機械の整備・修理に対応、さらに工場内には冷房施設や屋根内側に遮熱シートを設置、夏場の熱中症対策や冬場の保温効率改善に対応して作業環境にも配慮した設備となっており、関西エリアのお客さまにより良い商品とサービスを提供してまいります。営業開始は2026年1月の予定です。

［外観のイメージ図］

OPERATING RESULTS　セグメント別･品目別の概況